

令和5年度  
中学校第1学年  
国語

注意

- 1 「始め」の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 先生の指示があつてから、組、出席番号、氏名を書いてください。
- 3 問題は、1ページから13ページまであります。
- 4 答えは、すべて解答用紙の所定の欄らんにはつきりと書いてください。

組	出席番号	氏名

大島さんは、卒業した小学校の六年生に向けて手紙を書きました。あとの問いに答えなさい。

① 新緑が美しい季節となりました。大山小学校の六年生のみなさん、お元気ですか。

私は、丸山中学校一年の大島はるかです。大山小学校を卒業して、まだ一か月ほどしかたっていませんが、みなさんと過ごした日々がなつかしく思い出されます。私は、中学生になって、自転車通学や部活動など、新しいこと連続で、いそがしい毎日を送っています。苦手な教科はムズカしく感じることもあります。② 一生涯懸命がんばっています。大変なこともあります。③ その分じゅうじゅうして楽しいです。今は、生活シユウカンをととのえらうことに気をつけています。

ところで、私たち一年生は、文化祭で、「あわ文化」についての発表会をする予定です。発表会では、徳島県のみりよくをたっぷりと伝えたいと思います。時間があれば、ぜひ見に来てください。

みなさんも来年は中学生になりますね。今のうちに、いろいろな力をつけておくといいと思います。きっと中学校のスタートがスムーズにきれると思います。④ 六年生は最高学年として、学校をリードしていく存在なので、仕事に責任をもって、よりよい大山小学校にするためにがんばってほしいと思います。みなさんのことを応援しています。

ア

ウ

イ

一 ー 線部①の漢字は正しい読みをひらがなで、 ー 線部②・③のカタカナは漢字に直して、楷書かいしょでていねいに書きなさい。

二 〰 線部を漢字に書き直したものととして適切なものを、次の1から3までの中から一つ選びなさい。

- 1 整のえる
- 2 整える
- 3 整る

三 …… 線部について、二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「だから」を使います。書き直した前の文の終わりの**五**字と、あとの文の「だから、」に続く**五**字を書きなさい。


。だから、


四 ア・イ・ウ には、それぞれ何を書きますか。次の1から3までの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

1 相手の名前

2 自分の名前

3 日付ひづけ

川口さんの学年では、徳島県のみりよくについて調べ、グループごとにデジタル機器を使って、プレゼンテーションを行います。川口さんたちは、自分たちのプレゼンテーションを動画に記録して確認するなど、発表会に向けて準備を進めています。次の【プレゼンテーションの原こう】を読んで、あとの問いに答えなさい。

### 【プレゼンテーションの原こう】

みなさんは、「徳島」といえば、何を思い浮かべますか。「阿波おどり」や「あい染め」、「すだち」や「なると金時」など、徳島にも県外に知られる有名なものがたくさんありますが、私は、徳島のみりよくのひとつに、「豊かな自然」があげられると思います。私たちは、生まれたときから、山や川など豊かな自然に囲まれて生活しています。いつも身近にある自然についていっしょに考えてみませんか。

私たちのグループは、みなさんに「吉野川」についてしようかいしたいと思います。

吉野川は、別名「四国三郎」と呼ばれています。なぜ「三郎」と呼ぶのでしょうか。昔から大きな川を、地名と人の名前にたとえて呼ぶならわしがあります。日本最大の川である利根川が「坂東太郎」と呼ばれています。太郎は長男を表します。九州の筑後川が「筑紫次郎」と呼ばれる次男。そして四国の吉野川は「四国三郎」と呼ばれる三男なのです。三つの川に共通するのは、こう水などで水害を起こすことが多いということです。吉野川は、水害を起こす一方で、そこに暮らす人々に、さまざまなかみをあたえてきました。

みなさん、耳をすましてください。この音は、何でしょうか。これは、吉野川の源流の音です。吉野川の流れは、高知県吾川郡、原生林の森の中がスタートです。そこから、百九十四キロメートルにもおよぶ流れが吉野川です。同じ川でも、川の姿は場所によってちがいます。吉野川の風景がどのように変化しているのか、上流から下流に向かつて、空からの風景を楽しんでみましょう。では、いくつか吉野川の写真をしようかいします。

ふだん何気なく見ている吉野川ですが、あらためて見てみると、「あらあらしい姿」「おだやかな姿」など、さまざまな姿を見ることができます。二〇一七年には、三好市でラフティング（ゴムボートに乗り激流を下るアウトドアスポーツ）の世界選手権が開かれ、大いに盛り上がりを見せたと聞いています。それから、日本でも有数の広大な河口の景色は、吉野川の雄大さを表す代表的な景色の一つと聞いていいでしょう。吉野川の河口には、大規模な砂のたい積があり、野鳥や干潟生物の宝庫となっています。バードウォッチングや干潟観察などがさかんに行われ、絶滅危惧種に指定されているシオマネキの姿を見ることがもできます。

ところで、写真を見ていて、気がついたことはありませんか。写真の中に、橋が写っていましたね。徳島県内の吉野川本流には、昭和初期にかけられた「三好橋」「吉野川橋」に始まり、平成二十四年完成の「阿波しらすぎ大橋」

がかかるまで、約九十年の間に、四十六本の橋がかけられました。つまり、二年に一本の割合でかけられていること  
になります。その当時の最新の工法をうまく使って造られており、「東洋一」「日本一」といわれたものが数多く存在し、  
吉野川はさまざまな橋がかけられている、まさに「橋の博物館」といえます。

あたりまえに存在している吉野川ですが、私たちにとってかけがえのない存在です。昔の人々は、吉野川とともに  
生きていました。自然に感謝する気持ちをもっていただきたいと思います。吉野川のみりよくは、とても美しいとい  
うことはもちろん、そこにともに生きてきた人々の姿があることだと思います。

(注) 干潟＝遠あさの海で、引き潮のときにあらわれる砂浜すなはまなどになっているところ。


(国土交通省徳島河川かせん国道事務所発刊「恵みの川めぐみ されど暴れ川 Our よしのがわ」より作成。)

一 ― 線部「つまり、二年に一本の割合でかけられていることになりました」とありますが、川口さんが、前の文に続け  
てこのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 くり返し伝えることで、言葉のリズムをよくするため。
- 2 くり返し伝えることで、正しいことを強調するため。
- 3 言いかえて伝えることで、イメージしやすくするため。
- 4 言いかえて伝えることで、足りない内容を補うため。

二 川口さんたちが、音を流したり写真の提示を行ったりした意図について、最も適切なものを、次の1から4までの中か  
ら一つ選びなさい。

- 1 聞き手が必要としている情報を示すことで、疑問を解決してもらうため。
- 2 特に伝えたいことの要点をまとめて示すことで、聞き手の理解を助けるため。
- 3 発表では話さない情報を示すことで、聞き手にあらたな興味をもってもらうため。
- 4 話す内容に関連した情報を示すことで、聞き手をひきつけ関心を高めてもらうため。

三 プレゼンテーションのあと、質問コーナーがあります。川口さんは、線部について、「さまざまなめぐみには、どのようなものがありますか。」という質問が出ると考え、吉野川のめぐみに関する情報を集めて、カードにまとめました。次の【情報カード1】・【情報カード2】は、その一部です。あなたが川口さんなら、【情報カード1】・【情報カード2】をもとにどのように答えますか。あとの条件1・条件2・条件3に従って書きなさい。

### 【情報カード1】

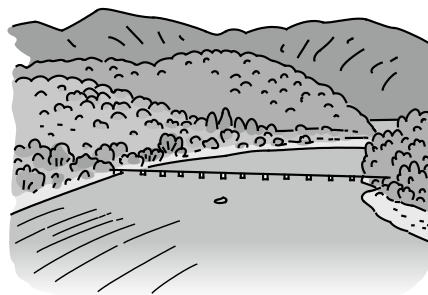
「四国三郎」吉野川とあいづくり  
—デメリットをメリットに—  
江戸時代、吉野川にはてい防がなかったため、台風のために大こう水が起きていました。こう水は、住民の生活に大きなひ害をあたえる一方、収かく後のあい畑はたに上流の肥えた土を流入させるといふよい点もありました。また、あいは台風の前にかり取りが終わるため、阿波に適した作物でした。

(「あわ文化テキストブック」より作成。)

### 【情報カード2】

吉野川流域では、毎年のように台風後にこう水が発生していた。  
いっぱん的には、あいは連作（同じ土地に同じ作物を毎年作ること）をきらい、一年おきでしか収かくできないが、吉野川流域では毎年収かくが可能であった。

(「あわ文化テキストブック」より作成。)



- 条件1 吉野川が人々にめぐみをあたえたといえるように、【情報カード1】・【情報カード2】を関連づけて書くこと。  
条件2 実際に発表をしているような言葉づかいにすること。  
条件3 「あいは、」に続けて、六十字以上、七十五字以内にまとめて書くこと。

岡さんの学級では、国語の時間に、気持ちよく学校生活を送ることができるよう、自分の考えを学級の友達に主張する文章を書くことにしました。生活委員会が行ったあいさつに関するアンケートを参考に、岡さんは、「あいさつ」について自分の考えをまとめています。次は、岡さんが書いた【文章の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

### 【文章の下書き】

あいさつでつながろう

岡 ゆうた

みなさんは、毎日あいさつをしていますか。私は、だれもが気持ちよく学校生活を送るために、しっかりとあいさつをすることが大切だと考えます。

現在、生徒会や生活委員会で「あいさつ運動」を行っていますが、小さな声であいさつする人や顔を上げずにあいさつをする人が多く見られます。なかには、あいさつをしても返さない人もいます。生徒会の三年生も、みんながあいさつができる学校にしたいと話していました。

私は、あいさつについて、みなさんに三つのことを提案したいと思います。

一つ目は、大きな声であいさつをするということです。顔を合わせたとき、大きな声であいさつされるととても気持ちがいいです。今日は体がつかれていているなど思っても、大きな声であいさつされると少し元気になれる気がします。あいさつは、自分も相手も元気になれるまほうの言葉だと思います。

二つ目は、自分からあいさつをするということです。先日の生活委員会によるアンケート結果から、あいさつをしてくれたら返すけれど、自分からあいさつをする人は少ないということが分かりました。なぜ自分からあいさつをしないかという理由で一番多かったのは、「あいさつを返してくれないかもしれないから。」というものでした。あいさつが返ってこない、いやな気持ちになるので、あいさつをしてくれたときにあいさつを返すので十分だと思う人がいるかもしれません。しかし、私は、進んで自分からあいさつをしたほうがよいと思います。

三つ目は、相手に思いが伝わるあいさつをするということです。アンケート結果から、学校であいさつをしていると答えた人数に対して、あいさつができる学校だと思うと答えた人は少ないことが分かりました。このことから、あいさつをしているのに相手にとどいていない可能性があるのでないかと思えました。せっかくあいさつをするのだから、相手に思いが伝わるようにしたいものです。そこで、私は、相手の顔を見て笑顔であいさつをしたいと思いません。名前の分かる相手なら、名前を呼んでからあいさつをするというのもよいかもしれません。

昔から、あいさつは大切にされてきました。「礼に始まり、礼に終わる」という言葉もあります。礼ぎを重んじるということですが、その中にあいさつもふくまれます。けん道やじゅう道など、武道の世界ではよく使われる言葉で、おたがいを尊重し、敬意を示す態度を表しています。人と人の心がつながるのに、あいさつはとても大切だと思います。私は、気持ちよく一日のスタートをきるために、そして周りの人たちとよりよい人間関係を築くために、しっかりとあいさつをしたいと考えます。

—  
6 岡さんが、三つ目の提案を書くために、根拠こんきよとして用いたアンケートの項目こうもくはどれですか。適切なものを、次の1から6までの中から二つ選びなさい。

- 1 毎日、学校であいさつをしていますか。
- 2 あいさつをすると、心地こころよくなりますか。
- 3 あいさつができる学校だと思いますか。
- 4 「あいさつ運動」を知っていますか。
- 5 毎日、家庭であいさつをしていますか。
- 6 社会に出たら、あいさつは大切だと思いますか。



二 岡さんは、——線部の「あいさつをしてくれたときにあいさつを返すので十分だ」と考える人を説得するために、アンケートの【あいさつに関するエピソード】を用いて、【文章の下書き】の~~~~線部をくわしく書き直そうとしています。あなたが岡さんなら、どのように書きますか。あとの条件1・条件2・条件3に従って書きなさい。

【あいさつに関するエピソード】

私は、自分からあいさつをするのは苦手でした。でも、ある日、あいさつをしてくれた相手に返すだけでは、人間関係が広がらないと気がつきました。あいさつを自分からするようになり、あまり話したことがない人となることができました。また、いろいろな世代の人と関わるきっかけにもなり、自分の世界が広がっていくのを感じています。

条件1 「あいさつをしてくれたときにあいさつを返すので十分だ」という考えに対して、異なる意見とその理由を書くこと。

条件2 【あいさつに関するエピソード】から言葉や文を取り上げて書くこと。

条件3 七十字以上、九十字以内で書くこと。

三 安全委員の山下さんは、「自転車で通学する人の交通安全」について自分の考えをまとめています。岡さんの文章を読んだ山下さんは、自分も岡さんと同じ構成で書くことにしました。次の1から7までの一文は、山下さんが考えた段落の書き出しです。どのような段落の順序となるか、次の1から7までを並べかえなさい。

- 1 最後は、いったん停止をするということです。
- 2 最近、交通ルールを守れていない人を見かけます。
- 3 次に、たてに一列に並んで通行するということです。
- 4 みなさんは、交通ルールを守っていますか。
- 5 私は、次のことを提案します。
- 6 まず、ヘルメットをきちんとかぶるといふことです。
- 7 私は、自分のためにも周りのためにも交通ルールを守ります。

4

青木さんの学級では、国語の時間に、「友情」をテーマにスピーチの会を開きます。そこで、スピーチの前に本を読んで、自分の考えをもつことになりました。次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

【本の一部】

(赤川 次郎 「卜短調の子守歌」より。一部省略等がある。)



一 線部の表現について述べているものとして、最も適切なものを次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 言葉の順序を変えることで、イメージを広げ、身近な印象をあたえる。
- 2 言葉の順序を変えることで、リズムを生み出し、強調している。
- 3 言葉をくり返し使うことで、イメージを広げ、身近な印象をあたえる。
- 4 言葉をくり返し使うことで、リズムを生み出し、強調している。

二 線部「いつもはろくに口もきかない子に、ただ自分と同じくらい走るのが遅いというだけで、親しげに声をかけてみたりする」とありますが、このときの麻子の気持ちとして、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 自分と同じように走るのが遅いことに親近感を覚え、この機会に親友になろうとしている。
- 2 同じように走るのが遅い人を見つけたことで、みじめさを少しでもまぎらわそうとしている。
- 3 自分と同じように走るのが遅いというみじめさを分かち合い、心から励まそうとしている。
- 4 自分の方が走るのが少しでも速いと確認することで、自分がすぐれていると思おうとしている。

## 【言葉の手帳】

4月20日

作品名 「ト短調の子守歌」 作者 赤川 次郎

### ☆感想

走るのがゆううつな麻子の気持ちがよく表れている表現だ。  
「たった八十メートルしかないのだ。」という表現から、実際のきよりはそう長くないと思っていることが分かる。走るのが苦手な麻子の気持ちがきよりを長く感じさせているのだ。ゆううつだと書かなくても、気持ちが表れているこのような表現を使ってみたいと思った。

三 青木さんは、心に残る言葉や気になる言葉に出合ったら、自分の表現に生かせるように、「言葉の手帳」に書き留めるようにしています。次の、【言葉の手帳】の  にどの言葉を書き留めたのかを、感想を参考にして、【本の一部】から一文でぬき出して書きなさい。

四 青木さんは、スピーチに向けて、知美の麻子への関わり方について、自分の考えをまとめています。あなたが青木さんなら、どのように書きますか。次の**条件1・条件2**に従って書きなさい。

**条件1** 【本の一部】から、知美の行動を取り上げ、知美の行動についてあなたの考えを具体的に書くこと。  
**条件2** 六十字以上、八十字以内で書くこと。